

令和4年度（2022年度）行政評価シート【個表】

令和 4 年 7 月 29 日

評価対象事業		評価者	観光課長	鷲尾 礼弁
市民-14	観光施設整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	観光課
重点事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	観光	施策の方針	観光基盤の整備・充実

1 事業の目的

対象	観光客等
意図	観光基盤施設を整備し、観光客が安全で快適に観光できる受入環境の整備を図るため。
効果	観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

2 令和3年度(2021年度)に実施した事業の概要

観光客の誰もが安全で快適に観光できるように、観光案内板等の新設・改修・修繕や、公衆トイレの修繕、ハイキングコースの安全確保等観光客の受入環境の整備を行った。また、観光客の利便性向上を目指し、屋外型Wi-Fi接続設備の維持管理を行った。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和3年度		令和4年度	達成度
				指標(実績値/目標値)	指標(目標値)	事業費(決算/当初)(千円)	
01	観光案内板等整備事業	観光案内板等作成	観光案内板改修件数(件)	2 / 1	1	1	
				1,353 / 2,385	2,385	2,385	
02	公衆トイレ維持管理事業	光熱水費、公衆トイレ電気・水道使用料負担金		/			
				4,535 / 7,246	6,012	6,012	
03	公衆トイレ等整備事業	公衆トイレ等維持修繕料、ハイキングコース等観光施設等整備事業		/			
				4,488 / 6,547	25,357	25,357	
04	ハイキングコース受入環境整備事業	パトロール事業負担金		/			
				1,219 / 1,303	1,303	1,303	
05	観光WiFi設置補助事業	新型コロナウイルスの影響により、未実施	補助金申請件数(件)	0 / 10	10	10	
				0 / 500	500	500	
06	観光WiFi維持管理事業	Wi-Fi接続設備等回線使用料、保守委託		/			
				1,755 / 1,851	1,851	1,851	
07	屋外ライブカメラ運用事業	七里ガ浜ライブカメラの設置		/			
				227 / 237	237	237	
08	一般事務経費			/			
				83 / 105	105	105	
09	上下水道管改修事業	関係者と協議の結果、実施を見送り		/			
				0 / 1,749	30,000	30,000	
10	ハイキングコース復旧事業	ハイキングコース復旧業務委託		/			
				4,290 / 6,950	6,950	0	
		財源内訳	国県支出金	99 /		1,731	
			地方債	/			
			その他特定財源	/			
			一般財源	17,851 /	28,873	66,019	
			事業費の合計(千円)	17,950 /	28,873	67,750	
		人件費(千円)		7,587	7,686		

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1.0	1.0	1.0			
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0			

## 5 評価結果

### (1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	観光案内板等整備事業	観光案内板の老朽化に伴う破損等によりリニューアルを実施したことによる件数の増加。	観光客への目的地への道標であり、観光客の利便性を向上させ観光振興に寄与するものである。	効果的な案内板の設置や、老朽化している案内板の計画的な回収の実施
02	公衆トイレ維持管理事業	指標の設定なし 公衆トイレの維持管理に必要な光熱水費等であるため。	観光客の利便性を向上させるもので、観光振興に寄与するものである。	年々老朽化していく施設の維持管理費の高騰
03	公衆トイレ等整備事業	指標の設定なし 公衆トイレ等の故障の際に対応する修繕料であるため。	観光客の利便性を向上させるもので、観光振興に寄与するものである。	公衆トイレの改修工事の費用の高騰
04	ハイキングコース受入環境整備事業	指標の設定なし ハイキングコースの維持管理を行っている費用であるため。	利用する観光客が多く、観光客の満足度を高めている施設の一つであり、観光振興に寄与するものである。	ハイキングコースを市としてどのように管理が最善であるかの検討
05	観光WiFi設置補助事業	補助金申請件数 WiFi設置補助を行う事業であることから、申請件数を指標とした。	観光客の利便性を向上させるもので、観光振興に寄与するものである。	WiFi自体の今後の存続も含め、観光客のニーズを図る必要がある。
06	観光WiFi維持管理事業	指標の設定なし WiFi環境を維持するための保守等の費用であるため。	観光客の利便性を向上させるもので、観光振興に寄与するものである。	WiFi自体の今後の存続も含め、観光客のニーズを図る必要がある。
07	屋外ライブカメラ運用事業	指標の設定なし ライブカメラの維持に係る費用であるため。	観光客の利便性を向上させるもので、観光振興に寄与するものである。	ライブカメラの今後もあり方の検討
08	一般事務経費	指標の設定なし 一般事務経費であるため。		
09	上下水道管改修事業	指標の設定なし 海岸の上下水道の改修を行う事業であるため。(令和2年は上水、令和3年が下水)	観光客の利便性を向上させるもので、観光振興に寄与するものである。	改修費用における市の負担軽減のため、補助金の活用や利用者負担について整理する。
10	ハイキングコース復旧事業	指標の設定なし ハイキングコースの復旧に係る倒木処理等の費用であるため。(単年度で終了)	観光客の利便性を向上させるもので、観光振興に寄与するものである。	ハイキングコースを市としてどのように管理が最善であるかの検討

### (2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	3 外部化ができる事業はない
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-2 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
	市民等と協働して事業を展開しているか	△-2 市民等と協働して実施する事業はない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済
		協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】  拡充  改善・変更  現状維持  縮小  休止・廃止  
海岸下水道ほか施設の整備計画、管理方法等を再検討し、効率的な施設整備及び管理を行っていく。

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	観光客の満足度						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
当該事業の実施により、観光客の満足度を向上させるため。	目標値	88.5	89.0	89.0	89.5	89.5	90.0	
	実績値	81.0						
	達成率	91.5%						

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	入込観光客数(令和2年)単位:千人							
団体名	鎌倉市	藤沢市	横須賀市	逗子市	三浦市	横浜市	川崎市	箱根町
他市実績	7,380	11,558	4,752	464	4,018	19,324	14,330	12,570

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方 県内全市町村が実施している入込観光客数調査において、鎌倉市は県内5番目であるが、面積は4市よりも小さいことから、他市に比べて観光客が密集していることが伺える。